

お出かけてしみませんか。

県内のおすすめスポット

6月と言えばアジサイを
思い浮かべる方も多いかもしれませんが、
バラも見頃を迎えています。
神奈川県内でバラを楽しめる場所へ
お出かけしてみませんか？



写真提供元：神奈川県観光協会



花菜ガーデン

<http://www.kana-garden.com/>

5月1日(木)～6月8日(日)まで、バラ園ガイドツアー「花菜ガイド」で見所を紹介。
開催時間：9時20分、9時40分、10時、10時20分、10時40分、11時(所要時間：約45分)。
各種イベントや園芸相談コーナーなどもあります。



開園時間 9:00～17:00(冬季を除く、詳細はHPで)

所在地 神奈川県平塚市寺田縄496-1 神奈川県立花と緑のふれあいセンター

入園料 大人520円／子ども200円 他

入園料 有料駐車場あり。公共交通機関を利用される場合、JR平塚駅北口から神奈中バス
秦野駅行き(71・74・75系統)または小田急線秦野駅北口から神奈中バス平塚駅
行き(71・74系統)に乗り、[平塚養護学校前]停留所で下車、徒歩5分。

休園日 12月31日～1月4日、1月～2月の不定休日



港の見える丘公園(ローズガーデン)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/park/yokohama/kouen044.html>

港の見える丘公園は横浜でも有数のバラの名所。横浜市イギリス館(西洋館)を背景に広がる
園内のローズガーデンを中心に約110種1,300株のバラが楽しめます。
見頃は、5月中旬～6月中旬と10月中旬～11月中旬です。



開園時間 年中無休

所在地 横浜市中区山手町114

入園料 見学無料

入園料 みなとみらい線・元町中華街駅の出口6から徒歩5分。バス利用の場合、JR桜木町駅から
神奈中バス保土ケ谷駅行き(11系統)に乗り、「港の見える丘公園前」下車すぐ。

休園日 なし



横浜イングリッシュガーデン

<http://www.y-eg.jp/>

1000種類のバラを中心に横浜の気候風土にあった草花や樹木を散りばめた英国式庭園。
バラの見頃は5月中旬～6月中旬、クレマチスや他の花も綺麗です。



開園時間 10:00～18:00(最終入園17:30)

所在地 横浜市区西平沼町6-1 TVK住宅展示場内

入園料 大人500円／子ども200円

入園料 電車利用の場合は相鉄線平沼橋駅から徒歩10分。横浜駅西口から展示場行き無
料送迎バス有り(横浜西口ダイヤモンド地下街の南8番出口を上がり、天理ビルあ
おぞら銀行前から発着、約45分間隔)(※水曜運休)

休園日 年末年始

発行者：かながわ避難者と共にあゆむ会

【活動拠点】〒221-0835 横浜市中区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター
Tel:045-312-1121(内線4142) [受付時間：毎週月～土曜日13時～17時] Fax:045-312-1862
【連絡先】〒220-0004 横浜市区西平沼町6-1 エキニア横浜ビルB1階 MBE 113
メール:info@hinansha-shien.net ホームページ: <http://hinansha-shien.net/>
協力：神奈川県、かながわ避難者支援会議

広報誌「ともに歩む」発行は、
かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金(ボランティア活動補助金)対象事業です。

■活動支援金のお願い

私たちの活動をサポートしてくださる方からの
活動支援金(1口1,000円)を受け付けております。
ぜひ、ご協力ください。

【ゆうちょ銀行】
振替口座 00250-7-101771
加入者名：かながわ避難者と共にあゆむ会

かながわに避難者されている方への情報交換会報誌

ともにあゆむ

2014
創刊号
6-7月

避難されている方々同士が
つながり、語り合い、
共にあゆむことを目指して。



創刊にあたって

かながわ避難者と共にあゆむ会とは

避難されている方々を想い

かながわ避難者と共にあゆむ会 代表 鈴木 寛

避難されている方々に向けた神奈川県の取り組み

6,7月の交流ひろばのご案内

神奈川県内の主な支援団体のご紹介

創刊にあたって

東日本大震災と津波による被害からの復旧・復興、原発事故の収束作業、

国の直轄による除染作業などが、どれほど進み、いつ目処が付くのか……

先が見通せない一方で、復興公営住宅の建設、さまざまな補償・補助制度の見直しなど、ふるさとを離れて避難を余儀なくされている方々を取り巻く状況は絶えず変わっていきます。

また、お子さんの進学や就職、ご自身の再就職など、

個々の事情があり、それぞれに決断するときに訪れるでしょう。

どうするのがいいのか、正解はひとつではないと思います。

少しでもよりよい道を探すために、それぞれの置かれた状況をよく理解し、

情報を交換し、相談し、決断をそっと後押しする、そういう「つながり」を作っていきますか。

そして、この『ともにあゆむ』が一助となれば……、それが発刊にあたっての願いです。

かながわ避難者と共にあゆむ会について

東日本大震災および東京電力福島第一原発事故の影響により神奈川県内に避難された方々への支援活動を発災直後から続けてきた有志メンバーが集まって平成25年6月に任意団体を結成しました。



私たちが目指すのは、避難されている方々同士がつながり、語り合い、共にあゆむこと。そしてその交流を支援することです。“ふるさと”との絆を新たにすると同時に、生活の場となる神奈川県などの地域住民とも交流していただき、避難されている方々が主体的に生き生きとした生活と笑顔を取りもどすことを目的にしています。

この活動方針について話し合いを重ねる中で、「支援する者」「支援される者」という立場を超えて共にさまざまな課題と問題に取り組むことを目指して、平成25年10月1日に団体名称を「かながわ避難者と共にあゆむ会」としました。

平成25年度には、「かながわ・あづまっぺお茶っこ会」、「町別交流懇談会」、「ふるさとコミュニティinかながわ」など、横浜市の拠点とする交流会を実施してきました。また、福島県から避難されている方を対象として一時帰宅と交流を目的とした「ふるさとバス」事業（計3便）を実施しました。

平成26年度は、かながわボランティア活動推進基金21に当会の「県内避難者との協働による支援ネットワーク構築事業」が採択されたことを受け、神奈川県内に避難されている方々および支援・市民団体との協働による支援ネットワーク構築事業をさらに推進します。この広報誌の発行もこの事業の一つであり、避難を余儀なくされている方に役立つ情報を集約して確実にお届けすることを目的としています。

避難されている方々を想い

かながわ避難者と共にあゆむ会
代表 鈴木 實



神奈川県とその近くに避難してこられた皆さま、お変わりございませんか。いやいや、毎日毎日がお変わりの連続のこととご推察申し上げます。

都会の暮らしは、やはり合わないこと、難しいことが多いのではないのでしょうか。窓を開けるにも近所迷惑を考え、大きい音を出すにも周囲を思い、いろいろ気遣われることがたくさんあると思います。ご家族がばらばらにお住まいの方も多く、家族で力を合わせてということも難しく、個人個人の肩に懸かるご負担が、過重になり過ぎないかと心配しております。

私たちは、縁があって当地へ避難してこられた方々が、皆さんで手を取り合って進んでいかれることを心から念じ、お手伝いをさせて頂いております。

ふるさとの復元・復興には、今しばらくの期間を覚悟しなければならぬと思います。市や町、そして村を構成してこられた皆さまが、元気に生きられ、それぞれの場所で繁栄されることが、美しいふるさとの再現には、なにより大切で必要なことであります。その点でも、お一人お一人が、お体を大切に、少しでも笑顔を取り戻し生きて頂く責務を背負っております。長い道のりになると思いますが、私たちも、と一緒に歩ませて頂きますので、どうか、少しばかり、ご安心ください。

豊かな海、菜の花畑、美しい水田、四季変化する渓谷、多くの川魚や山菜……かけがえのない美しいふるさととは、今も皆さまの胸の中に生き続けております。

被災されたふるさとの復元には、微力ではありますが私たちも全力を尽くします。皆さまが美しいふるさとの土を踏むときまで、私たちは皆さまと共に歩みます。



東日本大震災により避難されている方々に向けた

神奈川県の取り組みについて

神奈川でも「ふるさとの縁」を感じながら、より良い生活を送られることを願って！

■かながわ県民活動サポートセンター 中山さん

こんにちは、神奈川県立かながわ県民活動サポートセンターです。

ボランティア・市民活動の場として

かながわ県民活動サポートセンターは、横浜駅の西口から歩いて5分の場所にあります。平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに急速な広がりを見せたボランティア・市民活動を支援する拠点施設として、翌年4月に誕生しました。9階と10階のフリースペースは、多くの方が打ち合わせ・交流の場として利用されています。9階には印刷機などがありグループの情報紙の作成などもできます。

東日本大震災では、ボランティア活動支援の場にもなりました

震災発生直後、関係団体と協力し、県内の一時避難所に避難された方々への支援や協力ボランティアの募集、被災地支援情報の収集・発信等を行いました。平成23年4月以降は、ボランティア団体や神奈川県社会福祉協議会と協働して、被災地支援ボランティアバスの運行や岩手県遠野市にボランティア活動拠点施設「かながわ金太郎ハウス」（愛称）を設置・運営する等の支援活動を2年間行ってきました。神奈川県民の「被災地・被災者に、少しでもお役に立ちたい!」という気持ち・行動の足がかりとして、多少なりとも

お役に立てていたら嬉しいです。

そして今

今も、多くのボランティア団体が、神奈川県での大規模災害に備えたボランティア活動や、東日本大震災の被災地支援、神奈川県内への避難者支援に自主的に取り組まれています。当センターでもこうした活動を支援するため、災害ボランティア団体に活動スペースや県内避難者のための交流スペースを提供しています。

「かながわ避難者と共にあゆむ会」もこうした団体の一つで、特に福島県から神奈川県内に避難されている方々への支援に取り組んでこられました。今回、避難されている方々同士の交流や活動を行うための環境づくりに取り組み、神奈川県（災害対策課、かながわ県民活動サポートセンター）もこの事業に携わります。避難を余儀なくされている皆様が、この神奈川の地でも「ふるさとの縁」を感じながら、より良い生活を送られることを願っています。



電話や戸別訪問による助言・サポートを行っています！

■神奈川県災害対策課 寺田さん

神奈川県では、東日本大震災により神奈川県内に避難されている皆様に対して、さまざまな支援を行っています。その中から2つの主な取り組みについて紹介します。

支援・情報ステーションと見守り隊

避難されている皆様に安心して生活を送っていただくため、総合相談窓口として「東日本大震災 支援・情報ステーション（支援・情報ステーション）」を開設しています。支援・情報ステーションでは、被災地の復興や避難者支援に関する情報を収集し、来所される皆様に提供しています。

また、支援・情報ステーションでは、社会福祉士を中心とした「かながわ避難者見守り隊（見守り隊）」が、避難されている皆様が抱える介護・就労・子育てなどさまざまな課題に対し、電話や戸別訪問による助言・サポートを行っています。見守り隊へのご相談や被災地の復興など気になることがありましたら、お気軽に支援・情報ステーションにご連絡・お立ち寄りください。

関係団体等と連携した取り組み

平成25年5月、神奈川県・県内市町村・岩手県・宮城県・福島県・関係団体を構成団体とする「かながわ避難者支援会議」を設置しました。神奈川県と構成団体は、避難されている皆様に対する支援を連携して進めています。「かながわ避難者と共にあゆむ会」も構成団体の一つです。平成26年度、神奈川県と同団体は連携して各種交流会を開催していきます。神奈川県では、ここに紹介したもの以外にも避難されている皆様への支援を数多く行っています。今後も神奈川県の取り組みにご理解いただきますようお願いいたします。

■東日本大震災 支援情報ステーション

開所時間：平日の午前8時30分から午後5時15分まで

電話番号：045-210-5970

所在地：神奈川県庁第二分庁舎1階（横浜市中区日本大通1）

アクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」県庁口出口から徒歩約3分
京浜東北線（根岸線）/ 横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩約10分



交 流 ひ ろ ば

6~7月

避難されている方同士が語り、交流を図り、
またふるさとの情報にも触れられるイベント・カフェをご紹介します

双葉町民交流懇談会「つながろう! 双葉町!」

6月7日(土) 14:00~16:00

いわき市内に避難されている方々の自治会「いわき・まごころ双葉会」の皆様が交流にお越しになります。お互いに近況や悩みを語り合いませんか。双葉町役場の方からは、町の動きなどをお知らせいたします。ぜひ足をお運びください。

参加費
無料



場 所 神奈川県社会福祉会館
横浜市神奈川区沢渡4-2(横浜駅西口より徒歩15分)

参加対象 福島県双葉町から避難されている方

■主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会 TEL 045-312-1121 (内線4142) 電話受付時間 毎週月~土曜日13時~17時

6月 水無月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7 ☺	8
9	10	11	12 ☺	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 ☺	24	25	26	27	28 ☺	29
30						

7月 文月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 ☺	6
7	8	9	10 ☺	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 ☺	27
28	29	30	31			

双葉町民交流懇談会「つながろう! 双葉町!」 かながわ・あづまっぺお茶っこ会 南相馬市民交流懇談会

守りたい・子ども未来プロジェクト 交流会 守りたい・子ども未来プロジェクト「ままだおる」世代間お料理交流会

かながわ・あづまっぺお茶っこ会

6月12日(木) 14:00~16:00
6月28日(土) 12:30~15:30
7月10日(木) 10:00~12:30
7月26日(土) 12:30~15:30

参加費
無料

ランチは各自ご持参ください

神奈川近郊に避難されている皆様のが気楽にお話ができる「お茶っこ」を開催しています。ご参加された方同士がお話をしていると、実は元のお住まいがご近所だったなどということもありました。「かながわ避難者と共にあゆむ会」のスタッフが皆様をお待ちしておりますので、ぜひお気軽にお立ち寄りくださいませ。

場 所 かながわ県民センター 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 東日本大震災の影響で避難されている方

■主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会 TEL 045-312-1121 (内線4142) 電話受付時間 毎週月~土曜日13時~17時



守りたい・子ども未来プロジェクト「ままだおる」世代間お料理交流会

6月23日(月) 10:00~13:00

お料理を通じて参加者同士の交流をはかりましょう。
参加費はご参加人数とメニューにより若干変わります。

参加費
500円程度

場 所 野毛地区センター 調理室
横浜市中区野毛町3-160-4(JR桜木町駅より徒歩5分)
参加対象 東日本大震災の影響で神奈川県に避難されている方

■主催・お問い合わせ先: 守りたい・子ども未来プロジェクト TEL 0120-372-895



守りたい・子ども未来プロジェクト 交流会

7月26日(土) 14:00~16:00

7月に交流会を実施いたします。これまで、いも煮や餅つき大会、地引網などを実施してきました。詳細については確定し次第「守りたい・子供みらいプロジェクト」のホームページにてご案内していきます。

場 所 未定 参加対象 東日本大震災の影響で神奈川県に避難されている方

■主催・お問い合わせ先: 守りたい・子ども未来プロジェクト
TEL 0120-372-895 URL <http://www.mamoritai2940.com/>



南相馬市民交流懇談会

7月5日(土) 13:30~15:00

2014年1月の実施に続いて、2回目の交流会となります。1回目は県内に避難されている方11名と南相馬ご出身で県内在住の方10名が参加され、中には偶然知人と再会された方もいるなど、出会い・再会の場となりました。南相馬市職員の方もご参加される予定です。

参加費
無料

場 所 かながわ県民センター
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 福島県南相馬市から避難されている方

■主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会 TEL 045-312-1121 (内線4142) 電話受付時間 毎週月~土曜日13時~17時



避難されている方向けに活動している主な県内団体（五十音順）

ここでは、「かながわ避難者支援会議」の構成団体の一部をご紹介します。「かながわ避難者支援会議」は、東日本大震災により避難されている方々への支援を行う関係団体や神奈川県内市町村、避難元自治体等により構成されており、避難生活の長期化による避難者の状況の変化や個々が抱える問題に対応するため、各団体が蓄積してきたノウハウ等を関係団体間で共有し、有機的に連携して効果的な支援を行うことを目的としています。

各団体の活動内容は次号より順次ご紹介します。

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

代表者 会長 篠原 正治
住 所 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター内 地域福祉推進部 地域福祉推進担当
TEL 045-312-4815
FAX 045-312-6307
メール tiiki@knsyk.jp
HP <http://knsyk.jp/>

東京地方税理士会

代表者 会長 小島 忠男
住 所 神奈川県横浜市西区花咲町4-106
税理士会館7階
TEL 045-243-0511
FAX -
メール -
HP <http://www.tochizei.or.jp/>

株式会社パソナ 福島就職応援センター

代表者 八代 義一
住 所 福島県郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル8階
TEL 024-925-0811
FAX 024-925-0812
メール yyashiro@pasonacareer.biz
HP <http://www.f-turn.jp/info/syusyoku.html>

公益社団法人 神奈川県社会福祉士会

代表者 会長 山下 康
住 所 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館3階
TEL 045-317-2045
FAX 045-317-2046
メール jimur@kacsw.or.jp
HP <http://www.kacsw.or.jp/>



株式会社ファンケル

代表者 代表取締役 社長執行役員 宮島 和美
住 所 神奈川県横浜市中区山下町89-1
担当部署 カスタマーサービスセンター CSR推進事務局
担当者 臼井 裕人(うすい ひろと)
TEL 045-226-1798 FAX 045-226-1203
メール uy0060@fancl.co.jp
HP <http://www.fancl.jp/csr/kizuna/volunteer.html>

かながわ避難者と共にあゆむ会

代表者 代表 鈴木 寛
住 所 横浜市西区北幸1-1-8
エキニア横浜ビルB1階 MBE 113
TEL 045-312-1121 (内線4142) 電話受付時間: 毎週月～土曜日13時～15時
FAX 045-312-1862 (MBE 113宛で)
メール info@hinansha-shien.net
HP <http://hinansha-shien.net/>

日本労働者協同組合連合会センター事業団 神奈川事業本部

代表者 本部長 成田 誠
住 所 神奈川県横浜市中区伊勢佐木町2丁目66番地
満利屋ビル8階
TEL 045-341-4192
FAX 045-260-5558
メール kngwb@roukyou.gr.jp
HP <http://workerscoop.sub.jp/honbu/kanagawa/>

守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会

代表者 共同代表 藤井紀代子、田口努
住 所 横浜市中区弥生町2-15-1 ストックタワー大通り公園Ⅲ
305A 神奈川県ユニセフ協会内
TEL 0120-372-895
FAX 045-334-8951
メール info.mamoritai@gmail.com
HP <http://www.mamoritai2940.com/>
<http://blog.canpan.info/fukushimacafe/> (ブログ)

写真提供元: 神奈川県観光協会



写真や絵手紙、ちぎり絵などを、掲載させていただきませんか？

データをメールでお送りいただくか、
現物をご郵送ください。作品の返却を希望される方は、その旨を明記してください。
(掲載する作品は、ご本人様の作品に限らせていただきます)

お聞かせ
ください



『ともにあゆむ』を手にとっていただきありがとうございます。

「ともにあゆむ」は隔月発行、次号は7月末を予定しています。今後も内容をますます充実させていきたいと考えています。
そのために、みなさまのお力添えをいただけませんか。ぜひご意見やご感想をお寄せください。また、こんな情報を載せてほしい、こん

な案内がほしい、といったご要望もお聞かせください。
避難されている方が参加できる交流会やサークルの情報も掲載いたします。
下記までお寄せください。

【宛先】〒220-0004 横浜市西区北幸1-1-8 エキニア横浜ビルB1階 MBE 113 かながわ避難者と共にあゆむ会「ともにあゆむ」係